

★氏名： 遠矢 幸子

★職名： 教授

★主な担当科目： グループ・プロセス、ピアサポート、社会と心理

学位：教育学修士

最終学歴：九州大学大学院教育学研究科教育心理学専攻博士後期課程単位取得後満期退学
所属学会等：

・日本教育心理学会、日本発達心理学会、日本グループ・ダイナミックス学会 など

★【主な研究テーマ】

- ・学童保育における児童の発達支援と指導員に対するコンサルテーションに関する研究
- ・教師の学級経営に関する個人内資源の特徴とその活用に関する実践的研究
- ・短期大学生の特性に関する研究

★【主な研究業績】

【著書】

「よくわかる学校教育心理学」2010 共著 ミネルヴァ書房

「心理学のポイント・シリーズ 児童心理学」2009 共著 学文社

「社会心理学 対人行動の理解」1999 共著 ブレーン出版

「対人行動学研究シリーズ3 親密な対人関係の科学」1996 共著 誠信書房 など

【論文】

短期大学女子新生の摂食障がいについての知識 2022 単著 香蘭女子短期大学研究紀要, **64**, 77-82.

教師の学級経営に関する個人内資源の特性に関する研究 —教職経験年数の違いによる検討— 2021 単著 香蘭女子短期大学研究紀要, **63**, 85-91.

短期大学における新生の社会的能力と大学生活適応感および対人関係特徴との関係について 2020 単著 香蘭女子短期大学研究紀要, **62**, 21-28.

継続的なグループワークが学生の社会的能力の向上に及ぼす影響 2017 単著 香蘭女子短期大学研究紀要, **59**, 45-50.

学童保育における遊びを積極的に活用した子どもの発達支援 2016 単著 香蘭女子短期大学研究紀要, **58**, 37-46.

【科学研究費補助金研究成果報告書】

教師のエンパワーメント向上のための社会的資源に関する総合的研究 2007 共著 平成16～18年度科学研究費補助金 基盤研究(B) 研究成果報告書

児童の教師への主体的意思伝達行動促進と教師の学級経営方略に関する社会心理学的研究 2007 単著 平成16～18年度科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究成果報告書 など

氏名：河野 洋子（こうの ひろこ）

職名：教授

主な担当科目：住居学、インテリア入門

学位：工学修士

最終学歴：九州大学大学院工学研究科修士課程建築学専攻

所属学会等：日本建築学会

【主な研究テーマ】

- ・住宅の平面認識に関する研究
- ・パソコンを用いた生活空間の評価に関する研究

【主な研究業績】

- ・夫婦寝室の住文化論的考察（修士論文）
- ・3次元インテリアシミュレーションソフトの授業での利用について
(香蘭女子短期大学研究紀要 No. 48)
- ・透視図法を利用した家具スケッチ（ 同上 No50）
- ・生活空間の認識について（ 同上 No52）

★氏名： 中濱 雄一郎

★職名： 教授・学生部長・キャリアセンター長

★主な担当科目： 経営概論・パーソナルファイナンス・地域創生論

※学位： 修士（経営学）

※最終学歴： 西南学院大学大学院 経営学研究科 経営学専攻 博士後期課程
単位取得満期退学

※所属学会等： ・日本ファイナンス学会

★【主な研究テーマ】

- ・日本企業の株式所有構造に関する応用ミクロ計量経済学的手法を用いた分析・検証。
- ・地域で活躍する人材育成のためのプログラム開発および理論・データ検証。

★【主な研究業績】

【著書】

『短期大学教育の新たな地平』（2018）共著、第3章第1節（p.113-122）担当

【論文】

- ・「日本企業の株式所有構造の変容と2つのコード（コーポレートガバナンス・コード、スチュワードシップ・コード）の関係性について」（2021）
香蘭女子短期大学 研究紀要 第64号 p.95-99.
- ・「短期大学における調査研究の活用のスタンダードを目指して」（2020）
短期大学コンソーシアム九州 紀要 vol.10 p.21-27.
※小浦 康平氏（長崎短期大学 講師）との共著
- ・「香蘭女子短期大学 IR 委員会活動報告」（2017）
短期大学コンソーシアム九州 紀要 vol.7 p.41-45.
- ・「短期大学生の学修時間とキャリア形成に関する一考察」（2014）
短期大学コンソーシアム九州 紀要 vol.4 p.19-24.
- ・「株式所有構造の類型化に関する予備的考察」（2013）
香蘭女子短期大学 研究紀要 第56号 p.21-30.
- ・「短期大学在学生調査に関する一考察-パネルデータ分析に向けて-」（2013）
短期大学コンソーシアム九州 紀要 vol.3 p.13-18.
- ・「配当政策に対する株式持ち合いの影響について」（2012）
香蘭女子短期大学 研究紀要 第54号 p.33-42.

★氏名： 青柳 薫子

★職名： 教授

★主な担当科目： 財務会計論、ベーシック簿記、日商簿記Ⅰ、日商簿記Ⅱ、流通論
マーケティング論

※学位：修士（経営学）

※最終学歴：西南学院大学経営学研究科経営学専攻博士後期課程単位取得の上退学

※所属学会等：

- ・日本会計研究学会
- ・日本簿記学会
- ・財務会計研究学会
- ・ファッションビジネス学会

★【主な研究テーマ】

- ・会計利益計算論
- ・会計における時価情報、公正価値の研究
- ・会計学説研究
- ・流通業界、アパレル業界の会計実務に関する研究

★【主な研究業績】

共著

- ・上野清貴編著[2019]『簿記の理論学説と計算構造』中央経済社。
- ・山下寿文編著[2007]『偶発事象会計の展開』創成社。
- ・上野清貴編著[2006]『会計利益計算の構造と論理』創成社。
- ・現代国際会計研究学会編[2003]『現代会計の国際的潮流—シリーズ簿記会計システム②』五弦社。

論文

- ・「収支的貸借対照表における利益計算—コジオール学説について—」[2021]『財務会計研究』第14号。
- ・「百貨店の会計」[2019]『香蘭女子短期大学研究紀要』第61号。
- ・「無形資産の減損」[2018]『香蘭女子短期大学研究紀要』第60号。等

発表

- ・「コジオール学説に関する一考察—収支的貸借対照表における利益計算—」2019年10月12日（財務会計研究学会第13回大会 於：熊本学園大学）
- ・「小売企業の購買プロセスと在庫管理」2019年11月16日（ファッションビジネス学会2019年全国大会 於：文化学園大学）等

★氏名： 井野 智一郎

★職名： 准教授

★主な担当科目： 観光デザイン入門、ホテルビジネス概論、
ホスピタリティ検定2級対策講座

※学位： 教養学士

※最終学歴： 大東文化大学 国際関係学部 国際文化学科

※所属学会等：所属無し

★【主な研究テーマ】

- ・観光ビジネスの研究
- ・地方におけるインバウンドの可能性と問題点
- ・留学の効果測定と大学生の海外志向

★【主な研究業績】

氏名： 坂根 潤樹

職名： 准教授・アドミッションセンター長

主な担当科目：企業論、人的資源論、ベーシック簿記、ファイナンシャルプランナーⅠ

学位：経営学修士

最終学歴：法政大学大学院 経営学研究科 博士後期課程 経営学専攻 単位取得満期退学

所属学会等：原価計算研究学会、ファッションビジネス学会

【主な研究テーマ】

管理会計

戦略と業績評価システム

アクティブ・ラーニング

【主な研究業績】

- ・「業績評価システムについての一考察」（修士論文）
- ・「能動的学修（アクティブ・ラーニング）への転換に向けた現状と展望Ⅰ—本学における全学的な取り組みとは—」『香蘭女子短期大学研究紀要』第 57 号
- ・「能動的学修（アクティブ・ラーニング）への転換に向けた現状と展望Ⅱ—本学で実践できる具体的な手法について—」『香蘭女子短期大学研究紀要』第 57 号
- ・「Simons のフレームワークを応用した PBL 型授業の実践と課題—フクオカきのこ大祭を事例に—」『香蘭女子短期大学研究紀要』第 59 号
- ・「「OHASHI OMEKASHI SUMMER」における経済波及効果の測定」『香蘭女子短期大学研究紀要』第 59 号
- ・「幼児教育現場における業績評価に関わる予備的研究」『香蘭女子短期大学研究紀要』第 59 号
- ・「短大生調査から見る高校時の経験と短期大学進学への誘因の変化」『香蘭女子短期大学研究紀要』第 64 号

★氏名： 岩本 久美子

★職名： 講師

★主な担当科目： 医療事務、医療秘書実務、調剤報酬請求事務、医療保障制度

※学位：修士（医療秘書学）

※最終学歴：川崎医療福祉大学大学院医療福祉マネジメント学研究科医療秘書学専攻修了

※所属学会等：日本医療秘書実務学会、秘書サービス接遇教育学会、情報処理学会、
日本医療情報学会、日本診療情報管理学会、日本ビジネス実務学会、
日本医療マネジメント学会、日本キャリア教育学会

※取得資格：診療情報管理士、医療情報技師、診療報酬請求事務能力認定試験（医科）、
医師事務作業補助者実務認定試験、調剤事務管理士、
電子カルテオペレーション実務能力認定試験、
Microsoft Certified Trainer (MCT)、日商文書処理技能検定1級、
秘書技能検定1級、サービス接遇検定1級、ビジネス文書技能検定1級、
産業カウンセラー、国家資格キャリアコンサルタント、
国家資格2級キャリアコンサルティング技能士 他

★【主な研究テーマ】

キャリア教育・キャリア支援、秘書・接遇教育、医療秘書学、情報処理学、医療情報学

★【主な研究業績】

<論文>

- ・「学生のキャリア形成支援・就職支援について 教員としてキャリアコンサルタントとしての一考察」－学生アンケートからの分析－東筑紫短期大学研究紀要第47号 81-108、(2016年) (単著)
- ・「就学環境におけるITスキル発達の違いと検証-入力速度の計測による-」東筑紫短期大学研究紀要第48号 77-88、(2017年) (単著)
- ・「短大生のキャリア形成における就職支援の取り組みの試行」東筑紫短期大学研究紀要第48号 89-109、(2017年) (単著)
- ・「早期離職者における退職理由の分析: 医療秘書学科卒業生を対象として」関西女子短期大学紀要第29号9-15、(2019年) (共著)
- ・「学内技能大会における学習成果の可視化について」秘書サービス接遇教育学会 研究集録第25号 80-82 (2019年) (単著)
- ・「卒後就業実態の分析-長期就業者の調査」関西女子短期大学紀要第30号 17-21 (2020年) (共著)
- ・「医療秘書学科卒業生の就業実態調査：早期離職者へのアンケート調査報告」関西女子短期大学紀要 第31号 1-5 (2021年) (共著)
- ・「病院事務職に求められる資質・能力に関する実証研究」医療秘書実務論集第12号 25-35(2022年) (単著)

<学会発表>

- ・(事例発表) 学内技能大会における学習成果の可視化について 秘書サービス接遇教育学会第25回研究大会(2019年)
- ・(研究発表) 病院事務の新卒採用の現状～4府県下の病院を対象としたアンケート調査から～第23回医療マネジメント学会学術総会(2021年)
- ・(研究発表) 病院事務職に求められる資質・能力について～4府県下の病院採用担当者への調査から～日本医療秘書実務学会第12回研究大会(2021年)

★氏名： 須藤 信

★職名： 講師

★主な担当科目： メディアリテラシー, Web クリエート演習

※学位：修士（芸術）

※最終学歴：名古屋市立大学芸術工学研究科情報環境デザイン領域博士後期課程 在学

※所属学会等：日本映像学会, 日本デザイン学会, 初年次教育学会

★【主な研究テーマ】

芸術表現, 3Dコンテンツ・アニメーション, インタラクティブアート, 生体情報・計測

★【主な研究業績】

<論文・MISC>

1. 初年次教育科目「基礎ゼミ」が学生の学び評価に及ぼす効果：2018年度と2019年度の比較. 瀬谷 安弘, 中村 紘子, 須藤 信. 愛知淑徳大学論集. 人間情報学部篇 (10), pp. 1-10, 2020. 査読有
2. 映像視聴時の画角・情報量がトランジションに与える影響について(ME とバイオサイバネティックス) 須藤 信, 横山 清子電子情報通信学会技術研究報告 = IEICE technical report: 信学技報, 119(327), pp. 95-100, 2019. 査読無
3. 授業時間外の学びを支援する「Picture 塾」の取組と成果. 須藤 信. 久留米工業大学研究報告第 40 号, 1(40), 69-74, 2018. 査読有

<口頭発表等>

1. Evaluation of Continuity in the Transition of Video Sequences Using Eye Movement Analysis, Makoto SUDO, Kiyoko YOKOYAMA, 44th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine & Biology Society (EMBC), July 14, 2022.
2. 複数人が同時視聴可能な SR 映像コンテンツの開発, 須藤 信, 日本映像学会第 47 回大会 2021 年 6 月 6 日.
3. 「手が潰される感覚」を味わうメディアアートの開発, 須藤 信, 山口 李々菜, 日本映像学会中部支部第 1 回研究会, 2020 年 12 月 12 日.

<作品発表>

1. Something's Trigger, Makoto SUDO, Benicia Film Festival, Official Selection, 2018.
2. Something's Trigger, Makoto SUDO, Eurasia IMFF, Winner・Best Animation, 2018.
3. くるながくん, 須藤 信, いばらきデジタルコンテンツ・ソフトウェア大賞 アプリ・ソフトウェア部門, 【優秀賞】, 2018.
4. なにかのトリガー, 須藤 信, にいがたデジコングランプリ 動画・一般, 【グランプリ・新潟県知事賞】, 2017.